

環境レビュー結果

- (1) 照会番号
16-044
- (2) プロジェクト名
既存油田生産設備増強
- (3) 実施場所
イラク 南部
- (4) プロジェクト概要
既存油田の生産設備増強プロジェクト
- (5) カテゴリ分類
カテゴリ B
- (6) カテゴリ分類の根拠
本プロジェクトは、事業特性を鑑みて環境への負の影響は重大でないと判断されるため。
- (7) 環境許認可
同国制度に基づき環境社会影響評価書が作成されており、同国環境省より 2013 年 2 月 13 日に付帯条件付きで環境許認可を取得している。
- (8) 汚染対策
大気質、水質、廃棄物、騒音、土壌等の汚染対策について適切な措置が講じられている。
- (9) 自然環境面
操業中のプロジェクトサイト内に一部湿地が存在するが、自然環境を保護するための適切な措置が講じられており、プロジェクトによる湿地への影響は軽減されている。貴重種が生息する可能性があるため、モニタリングによって影響を監視する。

(10) 社会配慮面

苦情処理メカニズムが策定されており、社会面への影響に対して適切な措置が講じられている。

(11) 適用国際基準

世界銀行セーフガードポリシー

(12) その他（モニタリング等）

プロジェクト実施者によって環境社会衛生管理計画が作成されモニタリングが実施される。

以上

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所： イラク国バスラ県北西部西クルナ油田フェーズ1操業エリア

質問2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

イラク西クルナ油田は世界有数の巨大油田であり、現在米 ExxonMobil 社が主導する国際企業体がフェーズ1エリア（同油田のほぼ南半分を占め、究極可採埋蔵量は200億バレル超）の再開発・生産作業をイラク政府から請け負い（技術サービス契約（TSC）という契約形態）、2015年末現在日量40万バレル強の生産を行っている。尚、現在生産量を増加すべく、作業実施中。

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規 既往（苦情等あり） 既往（苦情等なし） その他（ ）

質問4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価（ESIA、EIA等）はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要（実施済） 要（実施中・計画中） 不要
 その他（ ）

質問5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み（附帯条件なし） 承認済み（附帯条件あり） 審査中
 その他（ ）

（承認年月： 2013年2月13日 承認機関： イラク環境省 ）

質問6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他（ ）

（許認可名：地下水層からの揚水承認（水圧入用）、ユーフラテス川からの取水承認、MOD(Main Outfall Drain)からの取水量増加に係る承認、廃棄物処理に係る承認）

質問7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件（例：特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等）ですか？

(~~Yes~~/No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

Noの場合、質問8以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes / ~~No~~)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

※既に操業中の開発済のサイトの近傍に位置しているが、問題は確認されていない。

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(Yes / ~~No~~)

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: 約 3,400 万 m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: ha)
- (4) 森林伐採 (規模: ha)

※地下水揚水は既に約 3400 万 m³/年で操業しており、これに伴う苦情や問題は報告されていない。

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 9. (1)~(4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他 ()

質問 11. プロジェクトは、社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(~~Yes~~ / No)

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 12 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

- 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ()
- その他 ()

質問 12. 貿易保険の対象となる輸出、貸付又は投資等の金額（保険価額）が、総プロジェクトコストの 5%以下または 10 百万 SDR 相当円以下ですか？（既往の同一プロジェクトへの追加的な輸出、貸付又は投資等の場合は累積額とします。）

(~~Yes~~ / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 環境社会影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト（例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得）に該当しますか？

(~~Yes~~/No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 14 以下にお答え下さい。

質問 1 4. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes/~~No~~)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 15 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- (5) 非鉄金属 製錬
- (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10)セメント（新設の採石場を含むもの）
- (11)有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- (12)火力発電
- (13)原子力発電
- (14)水力発電、ダム、貯水池
- (15)送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- (16)道路、鉄道、橋梁
- (17)空港
- (18)港湾
- (19)下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい 特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- (20)廃棄物処理・処分
- (21)農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- (22)林業、植林
- (23)観光（ホテル建設等）

質問 1 5. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

概略開発面積及び施設面積：442km²（既に開発済で既存サイトの拡張は行わない）

最大原油生産量：日量 160 万バレル

ピーク時発電量：600MW（但し、一度に建設するものではなく、30MW 程度の小規模な増設を需要に応じて行う）